

筑西労働基準監督署管内（筑西市、結城市、下妻市、桜川市、八千代町）で発生した労働災害の情報をお届けします。安全衛生活動にご活用ください。

【おことわり】 記事はすべて実際に発生した事例にもとづくものですが、わかりやすくなるよう一部加工する場合があります

はさまれ・巻き込まれ災害		業種：その他の製造業	
発生月：11月	発生時：8時	負傷程度／部位：骨折／左手	
男・女	年齢：20代	経験：1年	休業見込：1週間

## 発生状況

ベアリング部品の交換後、ベルトコンベヤーの試運転をしていたときに、ベルトの偏りを戻そうとして作動中のベルトに手を触れたところ、手がベルトと送りローラーの間に巻き込まれ骨折した。

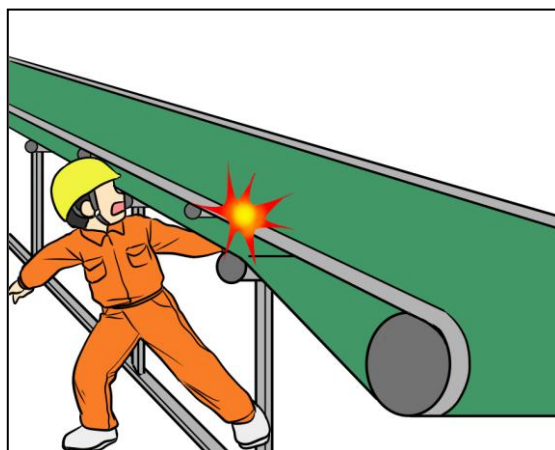
## コメント

ベルトコンベヤーは多くの製造現場で使われていますが、運転中のコンベヤーへの巻き込まれによる死亡災害や重い後遺症を残す災害が、ここ数年、県内でも複数発生しています。

多くは、ベルトに付いたわずかな汚れを手で払おうとしたり、ずれたベルトを調整しようとしてコンベヤーに直接触れてしまい、ベルトとローラーの間に手先が巻き込まれるというものです。しかし、いったん巻き込まれると強い力で引っ張られ、容易に引き抜くことはできません。さらに奥まで巻き込まれて、腕の切断等重い怪我に繋がっています。

コンベヤーは製造ラインの主要部分であり、作業員が自分の判断で機械を止めてしまうとライン全体の稼働に支障を来すことを心配して、機械を止めずに「この程度なら大丈夫か」と作動中のベルトに手を出してしまうケースが多いようです。これは厳禁です。

ベルトコンベヤーに限らず、どのような機械でも、「作動中の機械の可動部分には絶対に手を触れない！触れさせない！」ことを念頭に作業を行う必要があります。



## 再発防止のために

- 1 機械のそうじ・調整等のため、機械の可動部分に直接触れる場合は、必ず機械の運転を停止してから行う。
- 2 起動スイッチに、そうじ・調整等の作業中である旨、表示板を設置し、他の作業員が誤って起動スイッチを押さないようにする。
- 3 万が一停止中の機械が不意に起動した場合に、作業員が直ちに機械の運転を停止するための非常停止装置（ロープスイッチ、非常停止ボタン等）を設置する。

筑西労働基準監督署管内で平成24年に発生した労働災害統計の速報値が出ました。災害は全産業で昨年比7人の減となりましたが、震災復旧・復興工事の影響で特に災害が多発した昨年とほぼ同数であり、引き続き憂慮すべき状況にあることには変わりがあります。また、第3次産業における転倒災害が多く発生しております。

作業場内や事業場敷地内（駐車場を含む）の4S（整理・整頓・清潔・清掃）がきちんとなされているか、床面の凍結等によつて滑りやすい箇所が無いのか、今一度、点検・確認をお願いいたします。

## 労働災害の発生状況

### 筑西労働基準監督署管内労働災害状況（休業4日以上：人）

平成24年12月末（速報値）

全産業	327	(-7)
製造業	131	(-14)
建設業	50	(+7)
運送業	37	(-15)
商業	46	(+17)
その他	63	(-2)

( )内は前年同期比